



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社マツオカコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 松岡 典之
(コード番号：3611 東証プライム市場)
問合せ先 取締役(管理本部管掌) 金子 浩幸
(TEL. 084-973-5201)

業績予想と実績との差異及び特別損失(個別決算)の計上に関するお知らせ

2022年2月9日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び個別決算において特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績値の差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 (円 銭) |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|-------------------------|
| 前回発表予想 (A) | 50,000 | 200 | 500 | 300 | 30.63 |
| 実績 (B) | 51,056 | 181 | 1,037 | 559 | 57.06 |
| 増減額 (B-A) | 1,056 | △18 | 537 | 259 | — |
| 増減率 (%) | 2.1 | △9.4 | 107.6 | 86.3 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 53,928 | 4,563 | 4,073 | 2,764 | 277.91 |

2. 差異の理由

売上高は想定を若干上回る水準で推移しましたが、営業利益は年度末にかけての急激な円安進行の影響を受け在外子会社費用の円換算額が増加、前回発表予想を若干下回りました。

経常利益は年度を通じて為替レートが円安に推移したことから、外貨取引決済にかかる為替差益が増加、親会社株主に帰属する当期純利益も在外子会社での繰延税金資産計上により増加し、それぞれ前回発表予想を上回りました。

3. 特別損失(個別決算)の内容及び連結業績に与える影響

当社が保有する連結子会社 PT. MATSUOKA INDUSTRIES INDONESIA 株式の実質価額が著しく下落したため、2022年3月期の個別決算において、関係会社株式評価損 672 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、2022年3月期の連結業績に与える影響はありません。

以上